



北広島市ゼロカーボンシティ宣言について

近年、地球規模で大きな課題となっている地球の温暖化は、平均気温の上昇のみならず、大雨や干ばつ等の深刻な自然災害をもたらしており、我が国においても大雨や台風による被害、農作物や生態系への影響等が懸念されています。

このような気候変動による深刻な事態を避けるため、「世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて、1.5°Cまでに抑えるように努力する」との目標が国際的に広く共有されており、我が国では、2020年10月26日に内閣総理大臣所信表明において「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。

その後、2021年10月に国の「地球温暖化対策計画」が改定され、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくこと、中期目標として2030年度において、温室効果ガスの排出量を2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向け、挑戦を続けていくという新たな削減目標が示されました。

こうした状況を踏まえ、北広島市においても、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量削減を推進し、本市の豊かな自然環境を守り、未来へ引き継いでいくために、市民・事業者・市が一体となり、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「北広島市ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和5年2月14日

北広島市長 上野 正三